

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月12日

上場会社名 ローヤル電機株式会社

上場取引所 東

コード番号 6593 URL <http://www.royal-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 和義

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 鮫島 弘一

TEL 03-5424-1860

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|--------------|-------|---|------|---|------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 26年12月期第3四半期 | 3,584 | — | △229 | — | △294 | — | △391 | — |
| 25年12月期第3四半期 | — | — | — | — | — | — | — | — |

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 △385百万円 (—%) 25年12月期第3四半期 一百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|--------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年12月期第3四半期 | △93.13 | — |
| 25年12月期第3四半期 | — | — |

(注) 当社は、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、比較対象となる平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期の連結経営成績及び平成26年12月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|--------------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 26年12月期第3四半期 | 5,162 | 3,449 | 66.8 | 820.39 |
| 25年12月期 | 5,468 | 3,855 | 70.5 | 917.00 |

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 3,449百万円 25年12月期 3,855百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|-------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 25年12月期 | — | 0.00 | — | 5.00 | 5.00 |
| 26年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 26年12月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 5.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|---|------|---|------|---|-------|---|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 5,100 | — | △80 | — | △125 | — | △140 | — | △33.30 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

1. 平成25年12月期は、決算期変更により9ヶ月決算となっておりますので、平成26年12月期の連結業績予想の通期の対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|-----------|-------------|-----------|-------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 26年12月期3Q | 4,342,554 株 | 25年12月期 | 4,342,554 株 |
| ② 期末自己株式数 | 26年12月期3Q | 138,178 株 | 25年12月期 | 138,178 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 26年12月期3Q | 4,204,376 株 | 25年12月期3Q | — 株 |

当社は、平成25年12月期より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。これに伴い、平成25年12月期第3四半期連結財務諸表を作成していないため、平成25年12月期第3四半期の期中平均株式数(四半期累計)については記載しておりません。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 | 2 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 2 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 2 |
| 3. 継続企業の前提に関する重要事象等 | 2 |
| 4. 四半期連結財務諸表 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| 四半期連結損益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 5 |
| 四半期連結包括利益計算書 | |
| 第3四半期連結累計期間 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 7 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 7 |
| (セグメント情報等) | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果や消費税増税前の駆け込み需要の影響もあり、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、消費税増税後の駆け込み需要の反動、円安による原材料・原油価格の高騰や物流コストの上昇等が懸念され、先行きは引き続き不透明な状況となっております。このような経済状況のもとで、当社グループは、多様化する顧客ニーズに的確に対応した新製品開発のスピードアップとさらなる短納期化に努め、「軸流ファン」を中心とした中国への生産移管及び中国市場の開拓を推進し、熊谷工場との生産棲み分けと効率的生産システム構築による業績向上に総力をあげて取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、設備投資の増加傾向や電機・輸送・工作機械業界の順調な回復もあり、売上高は35億8千4百万円となりましたが、自動巻線機事業において新規開発要素の高い案件が継続している事や棚卸資産の評価減等により営業損失は2億2千9百万円、経常損失は持分法による投資損失9千7百万円を計上したことなどにより2億9千4百万円、特別損失で連結子会社において減損損失7千7百万円を計上したことなどにより、四半期純損失は3億9千1百万円となりました。

なお、前連結会計年度の決算期変更に伴い、当第3四半期連結累計期間は比較対象となる前第3四半期連結財務諸表を作成していないため、対前年同四半期増減比較は記載しておりません。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期会計年度末の総資産は、51億6千2百万円（前期末比3億5百万円減少）、純資産は34億4千9百万円（前期末比4億6百万円減少）、自己資本比率は66.8%（前期末70.5%）となりました。

総資産の減少は、主に商品及び製品1億9千5百万円の増加に対し、現金及び預金2億8千2百万円の減少、投資有価証券7千6百万円の減少、破産更生債権5千万円の減少があったことによります。純資産の減少は、配当の支払いと、四半期純損失の計上があったことによります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、今後の需要動向が不透明であることから、平成26年8月8日に公表いたしました予想数値を据え置いております。この予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（在外子会社の収益及び費用の換算方法の変更）

在外子会社の収益及び費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、在外子会社の重要性及び近年の為替相場の変動を勘案した結果、一時点の為替相場を用いるより、期中平均相場を用いる方が、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させるため、第1四半期連結会計期間より期中平均相場により円貨に換算する方法に変更しております。

なお、この変更による当連結会計年度の期首までの累積的影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

（税金費用の計算方法の変更）

従来、税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法により行っておりましたが、第1四半期連結会計期間より年度決算と同様の手法で計算する方法に変更しております。

この変更は、当社の親会社及び当社連結子会社と決算期を統一したことを契機に計算方法を見直し、四半期連結累計期間の課税所得に対応する税金費用の計算をより合理的かつ正確に反映させるために行ったものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 921,313 | 639,168 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,470,690 | 1,433,543 |
| 営業投資有価証券 | 496,065 | 498,889 |
| 商品及び製品 | 218,789 | 414,660 |
| 仕掛品 | 281,977 | 268,193 |
| 原材料及び貯蔵品 | 317,570 | 356,885 |
| その他 | 49,112 | 41,598 |
| 貸倒引当金 | △1,101 | △1,497 |
| 流動資産合計 | 3,754,417 | 3,651,442 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 220,984 | 187,471 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 62,012 | 78,075 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 88,336 | 74,961 |
| 土地 | 629,358 | 629,358 |
| リース資産（純額） | 6,535 | 0 |
| 建設仮勘定 | 25,432 | 13,800 |
| 有形固定資産合計 | 1,032,660 | 983,668 |
| 無形固定資産 | | |
| 借地権 | 32,841 | 32,841 |
| その他 | 51,238 | 20,589 |
| 無形固定資産合計 | 84,079 | 53,430 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 521,878 | 445,419 |
| 破産更生債権等 | 50,000 | 0 |
| その他 | 25,479 | 28,764 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 597,358 | 474,183 |
| 固定資産合計 | 1,714,099 | 1,511,283 |
| 資産合計 | 5,468,516 | 5,162,725 |

(単位:千円)

| | 前連結会計年度 (平成25年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 783,314 | 730,831 |
| 短期借入金 | 230,000 | 230,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 17,368 | — |
| 未払法人税等 | 18,990 | 32,146 |
| 賞与引当金 | 20,664 | 48,162 |
| アフターサービス引当金 | — | 6,637 |
| その他 | 206,968 | 338,813 |
| 流動負債合計 | 1,277,306 | 1,386,592 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 2,857 | 2,230 |
| 繰延税金負債 | 53,785 | 61,774 |
| 退職給付に係る負債 | 247,756 | 227,678 |
| 資産除去債務 | 14,700 | 14,700 |
| その他 | 16,567 | 20,506 |
| 固定負債合計 | 335,667 | 326,889 |
| 負債合計 | 1,612,973 | 1,713,481 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,538,448 | 1,538,448 |
| 資本剰余金 | 1,676,743 | 1,676,743 |
| 利益剰余金 | 789,112 | 376,558 |
| 自己株式 | △227,043 | △227,043 |
| 株主資本合計 | 3,777,261 | 3,364,706 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 99,894 | 108,859 |
| 為替換算調整勘定 | △21,742 | △24,322 |
| その他の包括利益累計額合計 | 78,152 | 84,536 |
| 新株予約権 | 130 | — |
| 純資産合計 | 3,855,543 | 3,449,243 |
| 負債純資産合計 | 5,468,516 | 5,162,725 |

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日） |
|--------------------|---|
| 売上高 | 3,584,072 |
| 売上原価 | 3,220,705 |
| 売上総利益 | 363,367 |
| 販売費及び一般管理費 | 592,946 |
| 営業損失（△） | △229,579 |
| 営業外収益 | |
| 受取利息 | 2,767 |
| 受取配当金 | 5,489 |
| 為替差益 | 12,346 |
| 受取賃貸料 | 6,957 |
| その他 | 10,355 |
| 営業外収益合計 | 37,916 |
| 営業外費用 | |
| 支払利息 | 1,184 |
| 売上割引 | 2,833 |
| 持分法による投資損失 | 97,019 |
| その他 | 1,314 |
| 営業外費用合計 | 102,353 |
| 経常損失（△） | △294,016 |
| 特別利益 | |
| 新株予約権戻入益 | 130 |
| 特別利益合計 | 130 |
| 特別損失 | |
| 固定資産除却損 | 146 |
| 減損損失 | 77,855 |
| 特別損失合計 | 78,002 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △371,888 |
| 法人税等 | 19,644 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △391,532 |
| 四半期純損失（△） | △391,532 |

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

| | 当第3四半期連結累計期間 （自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日） |
|--------------------|---|
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | △391,532 |
| その他の包括利益 | |
| その他有価証券評価差額金 | 8,965 |
| 為替換算調整勘定 | △2,580 |
| その他の包括利益合計 | 6,384 |
| 四半期包括利益 | △385,148 |
| （内訳） | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △385,148 |

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間（自平成26年1月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 報告セグメント | | | | 合計 | 調整額 (注) 1 | 四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 |
|-------------------------|-----------|---------|----------|----------|-----------|--------------|--------------------------------|
| | 送風機事業 | 住設事業 | 自動巻線機事業 | 企業再生支援事業 | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,199,972 | 791,855 | 553,608 | 38,635 | 3,584,072 | — | 3,584,072 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,199,972 | 791,855 | 553,608 | 38,635 | 3,584,072 | — | 3,584,072 |
| セグメント利益又はセ グメント損失(△) | 188,736 | 11,473 | △292,649 | 6,275 | △86,162 | △143,416 | △229,579 |

（注） 1. セグメント利益の調整額△143,416千円の主なものは、当社の総務部門等、一般管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「自動巻線機事業」において、一部の国内連結子会社で当第3四半期連結会計期間に、将来の回収可能性を検討した結果、当初予測したキャッシュ・フローが見込めないため、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失を計上しました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては77,855千円であります。